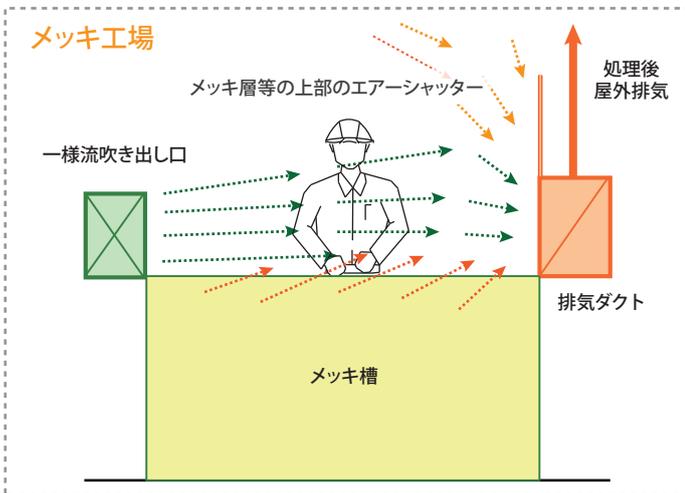
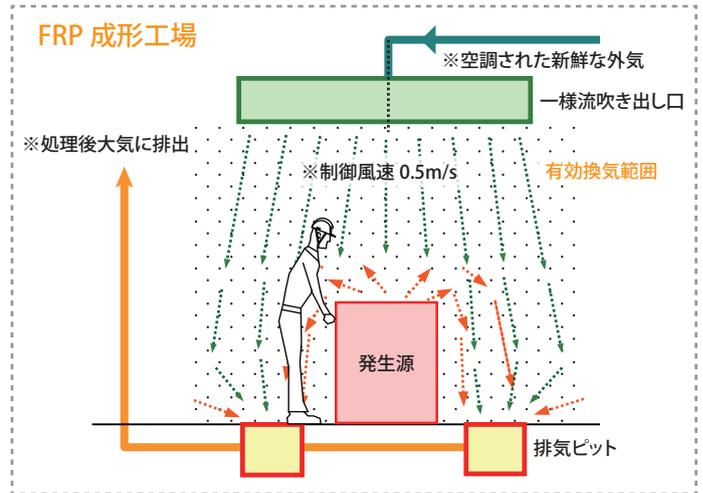
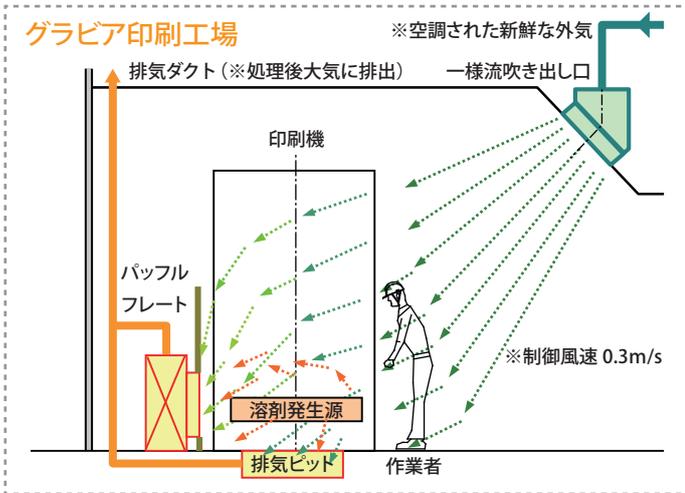


「Pu・Pu・Co」換気システムの実施例

「Pu・Pu・Co」による開放型換気装置



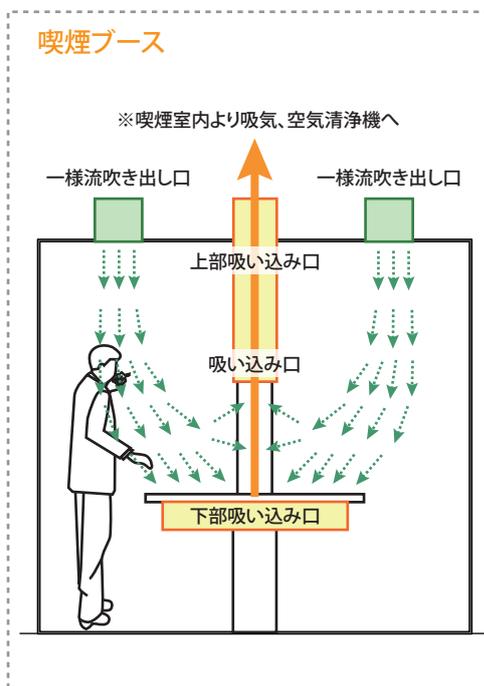
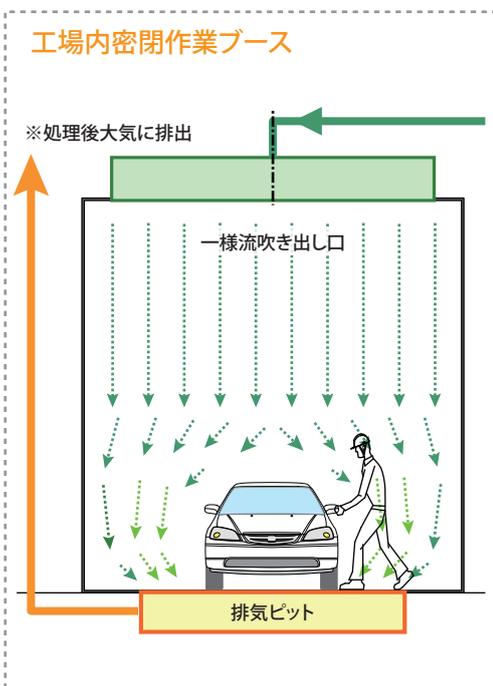
作業の安全性が向上

- 作業者を常に発生源の風上に位置させる
- 風速が遅いことにより溶剤が作業者に向かって逆流しない
- 制御風速が遅いので長時間の作業でも安全に作業ができる
- 空調の吹き出し温度が乱流方式に比べ 10℃前後高く済む
- 発生した溶剤は飛散する事無く確実に排気口に吸い込まれる

初期投資額、維持費を削減

- 排気量が少風量なので処理装置が小さく済み、初期投資額、維持費、空調能力が少ない
- 処理装置が小さく済むので設備は小スペースでよい
- 風速が遅いため溶剤の蒸発量が少なく済み製品の品質が向上

「Pu・Pu・Co」による密閉型換気装置（塗装ブース、喫煙ブース）



作業の安全性が向上

- 工場内のブース以外の空間に溶剤が漏れる事が無い
- 作業者は防塵マスクを掛ける必要がなく作業性も向上

初期投資額、維持費を削減

- 装置が小さくて済むため初期投資額及び維持費が少ない
- ブース以外の空調された空気は殆ど捨てる必要がなくなるため、工場全体の空調負荷も減少
- 製品に対して塗布されずに浮遊する塗料が無く、再附着がなくなるため製品の完成度が上がり歩留まりが向上